

## 眼科研修プログラム

### I 一般目標(GIO)

研修医が眼科学の基礎知識を実地臨床に基づいて学習し、眼科一般診療の基本的手技・手順を習得する。

### II 行動目標(SBO)

- \* 眼科患者の適切な問診が行えるようになる。
- \* 次の検査の基本を理解し行えるようになる。  
屈折検査・視力測定・眼圧検査・細隙灯検査・眼底検査・視野検査
- \* カルテへの所見の記載を習得する。
- \* 症例ごとに適切な処置を選択できる。

### III 方略(LS)

- \* 視力検査は指導医・視能訓練士とともに新規に入院してくる患者を中心に主に月曜と水曜の午後に行う。
- \* 眼圧検査は指導医とともに新規に入院してくる患者を中心に主に月曜・水曜の午後に行う。研修医が検査法に習熟したと判断した場合、外来通院患者に対しても随時外来診療中に指導医とともに行う。
- \* 細隙灯検査は平日午前の外来診療、月曜・水曜の新入院患者診察を中心に行う。基本的に指導医の陪席のもと行う。散瞳剤の使用は指導医の指示のもと行う。
- \* 眼底検査は指導医とともに細隙灯検査に付随して行う。
- \* 視野検査は検査日（不定期）に視能訓練士の実施している場に同席する。解析は指導医とともに行う。
- \* 蛍光眼底撮影は検査日（不定期）に医師の実施している場に同席する。結果の解析は指導医とともに行う。
- \* 外来診察は平日午前に行う。研修医は一般に新患患者の問診から一連の検査を指導医とともに行う。
- \* 入院患者の診察は基本的に月曜・水曜・木曜の午後に指導医とともに行う。
- \* 外来患者・入院患者の診察に当たっては所見を研修医がとり、その結果を指導医の取った所見とつき合わせて比較し、検討した上でカルテに記載する。
- \* 手術は火曜日と木曜日の午後に参加する。
- \* 症例検討（水曜日午後など）に参加する。
- \* 術後患者の診察を平日と土曜日の 8:30 から行っており、これに指導医とともに行う。
- \* 模擬眼での手術実習を一回以上行う機会を持つ（指導医が計画・同伴する）。